

高知県感染症発生動向調査（週報）

2013年 第9週 （2月25日～3月3日）

★ お知らせ

インフルエンザ 注意報値！

- ◆ 定点当たり報告数増加！県全体が引き続き注意報値超え！
- ◆ 定点医療機関迅速検査情報
(小児科：A型 50% B型 50% 内科：A型 83% B型 17%)
- ◆ 感染力は大変強く、集団生活の場で注意
- ◆ 予防法は、手洗い、うがい、咳エチケット

咳エチケット

- ★ 咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
- ★ 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
- ★ 使用したティッシュなどは、ゴミ箱に捨てましょう。
- ★ 咳やくしゃみをした後は、石鹸を使用して、よく手を洗いましょう。

○感染性胃腸炎に注意して！

定点医療機関からの報告が定点当たり 9.13 と前週の 8.77 から増加しています。例年初冬から増加し始め、12月頃に一度ピークをむかえた後、春にもう一度なだらかな山となり、その後初夏まで継続するという流行パターンをとっていますので引き続き注意してください。予防の基本は手洗いです。

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意して！

定点医療機関からの報告が定点当たり 1.37 と前週の 0.67 から約 2 倍に増加しています。例年冬季および春から初夏にかけての 2 つのピークが認められています。感染経路は、せきやくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれる細菌によって（飛まつ感染）また、排出された細菌が手などを介し、口に入ることによって感染します（接触感染）。予防には、手洗い・うがいやマスクの着用等が有効です。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ：急増 ：増加 ：横ばい ：減少 ：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ		25.21	全体は引き続き注意報値を超している。幡多、中央東、安芸で増加し、幡多では警報値を超している。その他の地域で注意報値を超している。
感染性胃腸炎		9.13	高知市、須崎、中央西で増加し、高知市では引き続き注意報値を超している。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.37	全体で先週から約 2 倍に増加した。幡多以外で増加し、中央西では注意報値を超している。
RS ウイルス感染症		1.17	中央西、須崎、幡多で減少し、全体で減少している。
水痘		1.00	幡多、高知市、中央東で増加した。

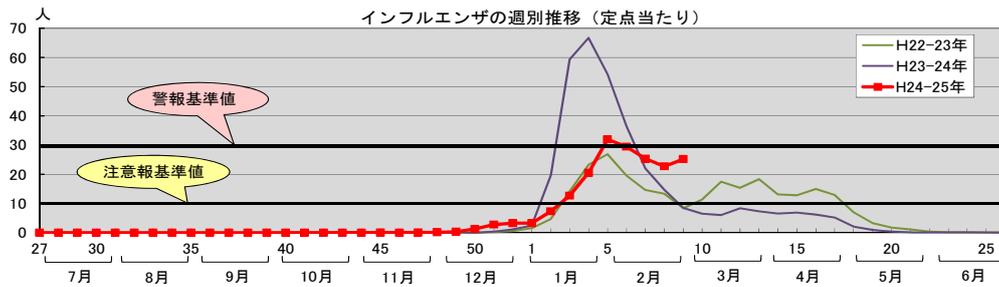
★ 地域別感染症発生状況



★ 気をつけて！

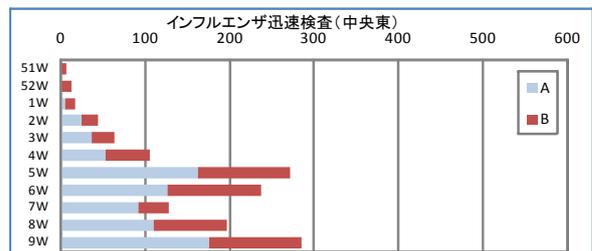
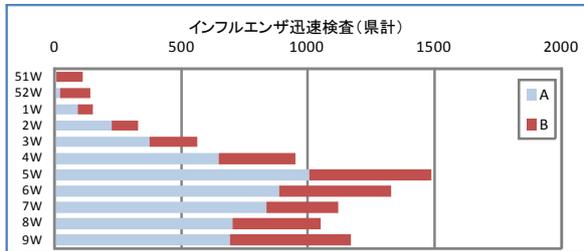
○インフルエンザ：25.21（注意報値：10.00 警報値：30.00）

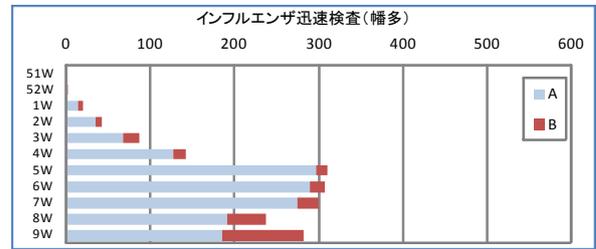
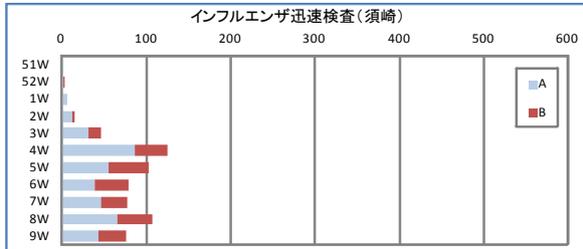
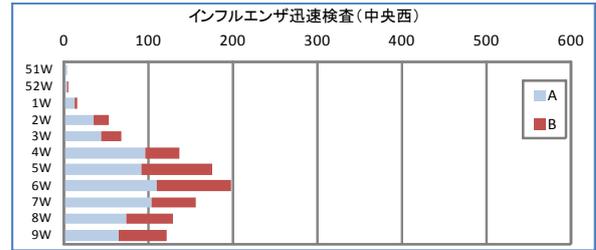
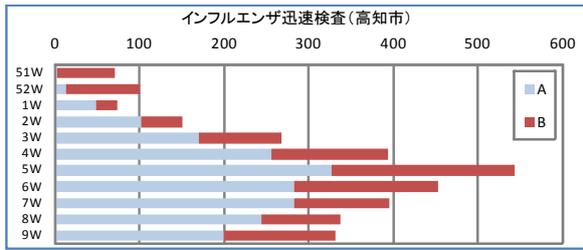
定点医療機関からの報告では定点当たり 25.21（前週：22.71）と増加し引き続き注意報値を超えています。幡多（35.13）中央東（27.00）安芸（21.00）で増加し、幡多では警報値を、その他の地域で注意報値を超えています。また、学校欠席者情報収集システムではインフルエンザウイルスは、A型とB型が同じくらいになっています。定点医療機関からの迅速結果報告では、インフルエンザウイルスA型がB型の約1.5倍です。引き続き手洗い、うがい、咳エチケットに心がけてください。



インフルエンザ迅速検査結果

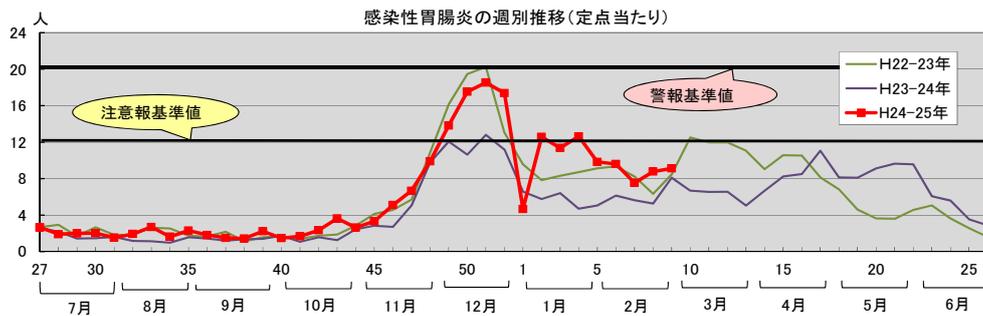
報告週	安芸		中央東		高知市		中央西		須崎		幡多		合計	
	検査	A B	検査	A B	検査	A B	検査	A B	検査	A B	検査	A B	検査	A B
51W	84	30 35	7	277 3	68	19 3	16	1	17			448	7	105
52W	50	1 16	66	13	308	13 87	38	3	1	34	2 1	14	1	2 510 20 120
1W	55	2 16	46	6 11	232	49 24	60	13	3	25	7	52	15	5 470 92 59
2W	66	16 7	124	25 20	404	101 49	104	35 18	45	12	3	129	35	7 872 224 104
3W	87	25 9	136	37 27	559	170 97	144	43 24	98	32 14	249	68	19 1273 375 190	
4W	74	31 18	240	53 53	775	256 138	249	96 40	232	86 39	410	128	14 1980 650 302	
5W	151	68 16	469	163 109	1055	327 217	323	92 83	184	56 47	620	297	13 2802 1003 485	
6W	123	41 15	374	127 110	953	282 171	356	110 87	171	39 40	726	289	19 2703 888 442	
7W	149	33 31	310	93 35	946	283 112	292	103 53	192	47 31	737	275	25 2626 834 287	
8W	123	19 26	374	111 86	839	244 94	269	74 54	201	65 42	533	191	46 2339 704 348	
9W	158	21 52	578	176 109	811	200 131	256	65 57	169	44 32	613	186	96 2585 692 477	





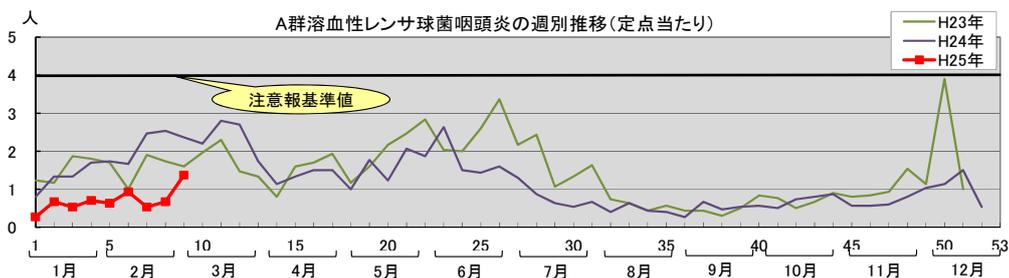
○**感染性胃腸炎：9.13** (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告では定点当たり9.13(前週：8.77)と増加しました。高知市(13.45)須崎(9.50)中央西(8.33)で増加し、高知市では注意報値を超えています。ノロウイルスは感染力が強く今後も施設等での集団発生の危険性が考えられるので注意してください。予防方法の基本は、手洗いです。特に、排便後、調理や食事の前には入念に手洗いをしましょう。



○**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：1.37** (注意報値：4.00 警報値：8.00)

定点医療機関からの報告では定点当たり1.37(前週：0.67)と約2倍に増加しました。幡多以外の地域で増加し、中央西(4.00)では注意報値を超えています。予防方法は、患者との濃厚接触を避けることです。うがい、手洗いなどの一般的な予防法も励行してください。



★ **病原体検出情報**

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
6	インフルエンザ	4	男	高知市	Influenza virus B/Victoria

★ **全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	4	23	80歳代(女)	安芸
				40歳代(男)、70歳代(女)	中央東
				80歳代(男)	高知市

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス扁桃炎 2 例 (1 歳男、2 歳女) ロタウイルス感染性胃腸炎 1 例 (15 歳男)
中央東	あけぼの小児科クリニック	再びインフルエンザが増加した 8wの症例で百日咳 1 例 (10 歳女) ロタウイルス胃腸炎 7 例 (4 ヶ月、1 歳×3 人、2 歳×2 人、5 歳) アデノウイルス咽頭炎 2 例 (1、5 歳)
	早明浦病院小児科	本山町の小学校でカンピロバクター腸炎流行中 カンピロバクター腸炎 3 例 (6 歳女、11 歳女×2 人) 土佐町の小学校でインフルエンザ A、B 型同時流行中
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (4、6 歳男) カンピロバクター腸炎 2 例 (2、14 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	伝染性紅斑、溶連菌感染症同時感染 1 例 (6 歳女) マイコプラズマ肺炎 1 例 (2 歳女：兄 (3 歳) からの感染)
	細木病院小児科	ロタウイルス (+) 2 例 (2 歳女) ノロウイルス (+) 1 例 (1 歳女)
	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 2 例 (女 2 名) 感染性胃腸炎 8 例 (男 3 名、女 5 名)
中央西	日高クリニック	帯状疱疹 1 例 (3 歳男)
	くぼたこどもクリニック	溶連菌感染 1 例 (10 歳男：須崎市)
須崎	もりはた小児科	ヘルペス性歯肉口内炎 1 例 (5 歳男) ロタによる胃腸炎増加傾向
幡多	さたけ小児科	アデノウイルス 1 例 (3 歳男)

※インフルエンザ情報につきましては迅速検査結果に反映させていただいておりますので、ホット情報では省かせていただきます。

★ 全国情報

第7週 (2/11～2/17)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核260例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症12例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎1例
感染地域：宮城県、デング熱1例、マラリア1例、レジオネラ症5例

5類感染症：アメーバ赤痢5例、急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、後天性免疫不全症候群
10例、梅毒14例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、劇症型溶血性レンサ球菌
感染症3例、風しん147例、麻しん4例

報告遅れ：E型肝炎1例、デング熱2例、急性脳炎9例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

◆ 風しんについて

昨年は2,353例の報告があり、過去5年間では最も多い報告数となりました。昨年の報告によると、近畿地方や首都圏での報告が多く、患者の7割以上は男性で、うち20代～40代が8割を占めました。今年も、同様の傾向であり、特に首都圏での増加が顕著となっています。平成23年度の国の調査では、20～40代の男性の15% (20代 8%、30代 19%、40代 17%) が風しんへの抗体を持っていませんでした。一方、20～40代の女性の4%が風しんへの抗体を持っておらず、11%では感染予防には不十分である低い抗体価でした。抗体を持たない又は低い抗体価の妊娠中の女性が風しんにかかると、赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障や緑内障などの障害 (先天性風しん症候群) が起こる可能性があります。

昨年の流行の影響で、平成24年10月から平成25年1月末までに、6人の先天性風しん症候群の患者が報告されました。妊娠中の女性は予防接種が受けられないため、特に流行地域においては、抗体を持たない又は低い抗体価の妊婦の方は、可能な限り人混みを避け、不要不急の外出を控えるようにしてください。また、妊婦の周りにいる方 (妊婦の夫、子ども、その他の同居家族等) は、風しんを発症しないように予防に努めて下さい。

具体的には、

風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう。

また、妊婦を守る観点から、特に、

(1) 妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族

(2) 10代後半から40代の女性 (特に、妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い方)

(3) 産褥早期の女性

のうち、抗体価が十分であると確認できた方以外の方は任意での予防接種を受けることをご検討ください。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第9週 平成25年2月25日(月)～平成25年3月3日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(8週)	高知県(9週末累計)		全国(8週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/12/31～H25/3/3	H24/12/31～H25/2/24		
インフルエンザ	インフルエンザ	84	297	343	122	83	281	1,210 (25.21)	1,090 (22.71)	68,661 (13.90)	8,566 (178.46)	829,783 (168.69)		
小児科	咽頭結核熱							()	2 (0.07)	782 (0.25)	7 (0.23)	6,641 (2.12)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	4	14	12	2	2	41 (1.37)	20 (0.67)	6,931 (2.20)	189 (6.30)	41,680 (13.30)		
	感染性胃腸炎	8	51	148	25	19	23	274 (9.13)	263 (8.77)	27,747 (8.81)	2,583 (86.10)	186,575 (59.53)		
	水痘	2	4	13	1	1	9	30 (1.00)	25 (0.83)	4,041 (1.28)	437 (14.57)	33,352 (10.64)		
	手足口病						6	6 (0.20)	9 (0.30)	589 (0.19)	41 (1.37)	4,361 (1.39)		
	伝染性紅斑			1	1			2 (0.07)	4 (0.13)	161 (0.05)	21 (0.70)	1,307 (0.42)		
	突発性発疹		1	4	3	1	1	10 (0.33)	6 (0.20)	1,415 (0.45)	82 (2.73)	10,670 (3.40)		
	百日咳							()	()	38 (0.01)	4 (0.13)	245 (0.08)		
	ヘルパンギーナ							()	()	62 (0.02)	1 (0.03)	466 (0.15)		
	流行性耳下腺炎							()	()	752 (0.24)	17 (0.57)	5,798 (1.85)		
RSウイルス感染症		5	17	6		7	35 (1.17)	45 (1.50)	1,198 (0.38)	428 (14.27)	12,865 (4.10)			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	18 (0.03)	()	124 (0.18)		
	流行性角結膜炎							()	()	289 (0.42)	2 (0.67)	2,583 (3.80)		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	7 (0.02)	()	54 (0.12)		
	無菌性髄膜炎							()	()	13 (0.03)	()	84 (0.18)		
	マイコプラズマ肺炎		2	2				4 (0.50)	2 (0.25)	229 (0.49)	41 (5.86)	2,305 (4.94)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	11 (0.02)	2 (0.29)	111 (0.24)		
計	101	364	542	170	106	329	1,612		112,944	12,421	1,139,004			
(小児科定点当たり人数)	(29.50)	(36.28)	(39.34)	(40.39)	(32.25)	(44.73)	(38.48)			(305.46)				
前週	68	266	537	173	126	296		1,466						
(小児科定点当たり人数)	(20.25)	(27.42)	(38.48)	(40.60)	(36.00)	(41.35)		(35.18)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(8週)	高知県(9週末累計)		全国(8週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/12/31～H25/3/3	H24/12/31～H25/2/24		
インフルエンザ	インフルエンザ	21.00	27.00	21.44	24.40	20.75	35.13	25.21	22.71	13.90	178.46	168.69		
小児科	咽頭結核熱								0.07	0.25	0.23	2.12		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.50	0.57	1.27	4.00	1.00	0.40	1.37	0.67	2.20	6.30	13.30		
	感染性胃腸炎	4.00	7.29	13.45	8.33	9.50	4.60	9.13	8.77	8.81	86.10	59.53		
	水痘	1.00	0.57	1.18	0.33	0.50	1.80	1.00	0.83	1.28	14.57	10.64		
	手足口病						1.20	0.20	0.30	0.19	1.37	1.39		
	伝染性紅斑			0.09	0.33			0.07	0.13	0.05	0.70	0.42		
	突発性発疹		0.14	0.36	1.00	0.50	0.20	0.33	0.20	0.45	2.73	3.40		
	百日咳							0.33	0.20	0.45	2.73	3.40		
	ヘルパンギーナ									0.01	0.13	0.08		
	流行性耳下腺炎									0.02	0.03	0.15		
RSウイルス感染症		0.71	1.55	2.00		1.40	1.17	1.50	0.38	14.27	4.10			
眼科	急性出血性結膜炎									0.03		0.18		
	流行性角結膜炎									0.42	0.67	3.80		
基幹	細菌性髄膜炎									0.02		0.12		
	無菌性髄膜炎									0.03		0.18		
	マイコプラズマ肺炎		2.00	0.40				0.50	0.25	0.49	5.86	4.94		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.02	0.29	0.24		
計	29.50	36.28	39.34	40.39	32.25	44.73	38.48			305.46				
(小児科定点当たり人数)	(29.50)	(36.28)	(39.34)	(40.39)	(32.25)	(44.73)	(38.48)			(305.46)				
前週	20.25	27.42	38.48	40.60	36.00	41.35		35.18						
(小児科定点当たり人数)	(20.25)	(27.42)	(38.48)	(40.60)	(36.00)	(41.35)		(35.18)						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869